

# 「こんな活動しています!」

## 『福まち』ってな~に??

「福まち」とは、福祉のまち推進センターの略称です。

福まちは、福祉のまち推進事業をすすめる団体で、「お互いに支え合い安心して暮らすことのできるやさしいまちづくり」を目指し、地域住民のみなさんと社会福祉協議会と札幌市が協力してすすめています。

札幌市内89地区で設置され、地域住民がボランティアで活動しています。

清田区でも、北野地区、清田中央地区、平岡地区、清田地区、星塚・美しが丘地区の5つの地区で設置され、様々な活動をしています。

### 北野地区

#### 「障がいを知る」をテーマに活動中

第14回「福祉まつり」を10月末に終えてホッとしているところです。北野地区の福まちは、今年「障がいを知る」をテーマに事業や学習を進めています。福祉まつりの中でも順風満帆の生活を送っていた講師牧野准子先生が、ある日突然車いす生活を余儀なくされ社会復帰するまでの体験を包み隠さず語ってくださいました。どんな障がいを持って生まれたとしても、どんな障がいを持ってしまったとしても、共に支え合い尊重されて生きていく、福祉のまち北野でありたいと願います。



### 清田地区

#### 【ふれあい祭り】～盛大に開催

清田地区福まち活動で例年と違うところは、5地区輪番制で実施されている「ふれあい祭り」の順番が回ってきたことです。昨年度から目論見はしていたものの、新年度に入るや実際に動かなければ前に進まないので、「清田地区ふれあいまつり’13実行委員会」を立ち上げ、6月から準備に入りました。スタッフは町連役員、福まち推進員、協力員のもと、5回の実行委員会を重ね、清田区民センターを会場に、9月16日(祝)開催しました。



生憎、台風の接近で朝から雨にもかかわらず、大勢のお客さんに駆けつけて頂きました。

舞台演芸は和太鼓・ハローバンド・キッズダンス・ひょっこ踊り・フラダンスなど。売店は有明産の野菜、札幌黄玉ねぎ、福まちレストラン、こども用のくじ引きコーナー、チャリティーバザー、生花販売、小規模作業所の作品販売等を行い、最後のお楽しみ抽選会では、誰もがお米10キロをゲットしようと会場いっぱいに一層の盛り上がりでした。

### 平岡地区

#### 「梅の実交流茶房」で町内会の活動内容を把握

高齢者見守り活動の取り組みでは、昨年に引き続き「梅の実交流茶房」において、各町内会、行政、専門機関との連携強化に努めています。当地区町内会を5グループに分けて開催し、毎回一つの町内会から活動報告・意見交換・各専門機関の説明など2時間半に渡り内容濃く進めています。



子育て支援の「こうめちゃんサロン」と「プラムちゃんるーむ」、すこやか俱楽部も順調に開催しており、福まちが発信する地域全体のネットワーク作りにつなげたいと考えております。

